

## 経緯と歴史

伊勢原産牛乳プロジェクトは、牛乳商品化を通じて経営所得の向上を図り、やりがいのある魅力的な酪農経営を実現し、地域ブランド牛乳が県産統一ブランド牛乳の礎となり、県内酪農振興に寄与することを目指し、伊勢原の牛乳を商品化し、伊勢原市の特産品・名産品化し伊勢原市の地域振興に貢献します

- ・H26. 5月 荒井新吾氏(酪農家)が、牛乳商品化について県(畜産技術センター)に相談
- ・H26.10月 伊勢原産牛乳プロジェクトチームを結成  
(チーム構成員)  
酪農家3名(荒井新吾氏、石田陽一氏、石井敏貴氏)  
伊勢原市役所、県機関3所属(畜産技術センター、湘南地域県政総合センター、湘南家畜保健衛生所)、伊勢原市役所、(一社)県畜産会、JA
- ・H27. 1月~ 毎月定例会を開催  
マーケティング活動を実施しながら牛乳商品化を検討
- ・H27.10月 マーケティング理論に基づく「商品コンセプト」完成
- ・H27.12月~ 消費者理解醸成イベント「牛乳勉強会」を牧場で開催  
(新聞掲載により反響)
- ・H28. 2月 各牧場が農場HACCPに取り組む方針決定
- ・H28. 3月 消費者による「伊勢原産牛乳プロジェクト応援団」を結成  
消費者が飲みたい牛乳を消費者と共に作る商品を目指す
- ・H28. 4月~ 乳業メーカーと商談開始  
(最初の商談で乳業メーカーが商品コンセプトに共感)
- ・H28. 9月 乳業メーカーによる生乳サンプリング検査  
(搾乳衛生の改善により合格)
- ・H29.11月 新商品「いせはら地(じ)ミルク」がタカナシ乳業(株)から発売
- ・H29.12月~ 相模女子大学、神奈川大学と販売促進活動を協力
- ・R 2.3月 新型コロナ禍により、販促イベント等自粛  
~R 5.5月
- ・R 2.頃 ~現在 飼料高騰(中国の買占め、ロシアのウクライナ侵攻、円安等の要因)
- ・R 5.8 ~11月 乳業メーカーによる生乳サンプリング検査  
(搾乳衛生の改善により合格)
- ・R 6. 1月 生乳出荷者として、酪農家3名のうち2名が変更  
酪農家3名(荒井新吾氏、熊澤正敏氏、三野泰宏氏)
- ・R 6. 9月 食料フォーラム2024(JA全中、NHK共催)に荒井新吾氏出演  
「ローカル自給圏」を確立した荒井氏の活動は、シンポジウム出席者から高く評価
- ・R 6. 11月 伊勢原市小学校3校が学校給食(シチュー)原材料として、「いせはら地(じ)ミルク」を使用し、提供時にオリジナル食育ビデオ(プロジェクトチーム作成)を放映
- ・R 7. 9月 「いせはら地(じ)ミルク」デザインのオリジナルトートバッグ作成  
(イベントにて3本購買者に1個配布、お世話になった方へのお礼)
- ・R 7.10月 タウンニュース誌電子版「レアリア」に「いせはら地(じ)ミルク」紹介記事掲載
- ・R 8. 3月末 「いせはら地(じ)ミルク」 終売
- ・R 8. 4月~ 「きんたろう牛乳」(伊勢原市内酪農家7名)を伊勢原市内小学校へ学校給食原材料として提供し、県内・市内酪農への理解を深める活動を通して地域振興に貢献する。

## 思い出のアルバム

### マーケティング活動(グループインタビュー)



### 市民を募集した牛乳勉強会



### 伊勢原産牛乳プロジェクト応援団 結成式



### マーケティングアドバイザー 星野康人先生との懇親会



### イベント販促活動



### 学校給食食材として提供





第一期(平成29年11月～令和5年12月)  
荒井新吾リーダー、石田陽一氏、石井敏貴氏



第二期(令和6年1月～令和8年3月)  
荒井新吾リーダー、三野泰宏氏、熊澤正敏氏

# 伊勢原産牛乳プロジェクト

ISEHARA THE MILK

